昭和廿一年六月一日 第三種郵便物認可　昭和二十一年十月十七日　夕刊　いわき民報　(木曜日)　第百五十一號　(一)

いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町一番地 (電話三八一番)
編輯發行人 兼印刷人 千葉克己
日刊 月曜日を除く
定價 一ヶ月五円 一部二十錢

郡下の農組遂に分裂か
草野村農組加盟問題を繞る
折笠・日野兩氏の對策激化

會長問題で危機を孕んだ日農石城協議會も縣聯の八百板正氏等の斡旋等に依り日野利春氏に落ついて、辛くも解消したかに見られたが、又々草野村農組問題から風雲急を告げ成行を注視されてゐる、草野村農民組合は郡下逸早く折笠藤雄氏の指導の下に結成されたが、農民の大同團結を期するため日農協議會への加盟を申込んだところ協議會側は加盟を拒み、先般新妻草野郵便局長等の發起に依り草野生活の協同組合の結成をみた際日野氏等が臨席、結成後居殘つた一部農民を以つて日農協議會支部を組織させた、成行を憂慮した民主人民聯盟大内委員長は圓滿大同團結を成さしめやうと奔走病中にも拘らず折笠氏と日野氏の間に文書を以つて斡旋に努めたので、折笠氏は十四日平市に來り社會黨常磐支部事務所に日野氏を訪ひ、再三加盟認容方を交渉したが、日野氏側は縣聯の意向でもあり且つ折笠氏が戰時中翼賛會等に關係あつたので、同氏の指導下にある農民の加盟は認め得ぬと突張つた、これに對し折笠氏は若し自分が指導的立場を退いたら加盟を許すかと迫つたが、飽迄認め得ずとの回答に折笠氏も憤激、遂に折角の會見交渉も何等妥協点を見出し得ず、完全に決裂對立の態となつた

反協議會派を統合
折笠氏新農民戰線の結成へ

日野氏と會見後折笠氏は、日農協議會側の態度は、農民戰線を無視した余りにも政黨的態度であるとして、全郡下の農組に飛檄、郡南、郡北に夫々農組を組合した上更らにこれを一丸として强力化し、斷乎日農協議會日野一派に對抗することに決意、活動を開始した、斯くて郡下の農組の分裂はこゝに遂に時間の問題と化した、尚草野、赤井、上遠野、入遠野、田人、大浦、大野、夏井、高久、鹿島の各村は折笠氏の指導下に結成を見た關係、その他從來からの關係上折笠氏の支持に傾くものとみられてゐる、これに對し日野氏等の協議會側が果して如何なる對策に出るか、何れにせよ來るべき縣議戰その他にも農民戰線の强力化の上に一大障碍となるので、民主人民戰線關係の各團体からも成行を憂慮されてゐる

故小野町長の頌德碑
いよいよ建設へ

小名濱町長故小野晋平氏の生前の功勞を顧彰する頌德碑建設案は高木町長時代に町會の決議を見たが當時戰時中とて實現に至らず今日に至つたがこの際急速に實現させるべきであるとこの程の町會で再燃いよ〳〵急速に着工することゝなり去る九日長瀨助役は比佐町議と共に碑石材料生産地仙臺に出張註文をした

平驛前の
いづみやは
どんな品をどんなに
安く賣つてゐるか
是非一度御覧下さい
電三四八番

褒賞に渡し船
愛林部落へ ―平營林署から愛林丸贈る

平營林署では豐間村沼の内附近一帶の潮害保安林の保護に積極的に協力し大きい功積を擧げてゐる沼の内森林愛護團に對し、褒賞の意味から横川渡船の便宜を圖るため四倉造船所で『第二愛林丸』を建造中であつたが、十六日正午から現地で進水式を行ひ、小池營林署長から愛護團引渡した

大浦村新舞子から高久村、豐間村の海岸線一帶にかけ、潮害防止のため設定されてゐる保安林は農作物の風害、潮害を防ぎ大きい恩惠を與へてゐるが、心無い地方民は大切なこの保安林を荒し、悲しいのは製鹽工場の燃料に若木を引抜き枝を折つて焚木にするなど目に余るものがあり、管理に當る營林署は遠隔地のため直接監視が出來ないため、これを各部落の森林愛護團に保護方を依囑、各村の部落保護團はそれ〳〵枯木の補植や下刈りなどに積極的に協力し、完全に保安林を保護してゐるが、このうちで最も優秀な成績を擧げてゐる沼の内部落は横川の向ひ側に迂廻すると約一里歩かねばならぬ不便があり、齋藤營林署長時代保賞の渡し船を造つて贈り感謝されたが、最初の愛林丸が腐朽破損した爲、これが代船として小池署長から巾四尺五寸長さ四間半の川船を贈呈したもので部落民は感激してゐる

郡下のトップを切り
―鹿島村が新米を供出―

郡下早場米のトップを切つて十五日鹿島村から百俵、植田町から三俵の供出があり、食糧增産陣に凱歌を擧げた郡下の供出は今月下旬から開始される

引揚者聯盟 支部長會議

引揚者磐城聯盟支部長會議は二十日午前九時から市役所日本間で開かれるが特に最近の大規模な縣の援護事業に對する支部の立場と厚生並びに生業資金の運用について協議する、一般協議事項は厚生、生業資金借入、事業資金造成計畫、引揚者團体の事業面の組織、配給管理委員、各支部の事業計畫等

生柿出荷打合

農業會支部では十六日午後一時から生柿出荷打合會を行つたが會津方部の豐作に比べて濱通りは例年にない不作で出荷量も四五千貫程度ではないかと見られて居る

殊勳の平倶樂部
東西對坑庭球に堂々快勝

軟式庭球六十五周年記念を兼ねた第十三回全日本關東關西對抗庭球戰は十三、四兩日四日市で開催され關東軍の勝利に歸したが、平倶樂部の宮川、齋藤組左の如き戰績で優退戰でも東京の磯部、石川組と共に優退戰にも勝利をおさめると同時に小川君は靜岡の渡邊君と、岩佐君は東京安友君と又木田君は東京の望月君と組み何れも快勝、たゞ鈴木君のみ東京の川端君と組んで敗れた、尚壯年對抗に出場した同部齋藤君は東京松岡武治君と組みこれ又快勝〃庭球平市〃のため万丈の氣を吐いた

宮川・齋藤	平倶	4―3	野々宮・山名	大阪・名古屋
岩佐・安友	平・東京	4―3	渡瀨・佐藤	岡山
小川・渡邊	平・靜岡	4―0	渡邊・市川	京都・神戸
望月・木田	東京・平	4―2	川野・木本	和歌山・廣島
今井・石橋	岡山	4―2	川端・鈴木	東京・平
▼優退戰				
宮川・齋藤	平倶	4―1	勝部・呉	神戸・京都

この暗影
遲配が生んだ
市配給課へ來た 涙に綴る嘆願文

主食の遲配は幾多悲劇をも生み殊に幼な子を持つ家庭に一沫の暗影を投じてゐるが、これは市配給課に寄せられた一市民の涙で綴る嘆願文でもある

(原文のまゝ)

お願ひいたします、今日の有様は實に困りました、米がないならさつまいもでもよろしいですからどつさり配給して下さい、毎日闇物ばかり喰べてゆくわけには參りません、私達は五人家族です、この有樣がいつまでつゞくのでせうか、全く生きてゆかれません、市長樣何卒手配して下さい、私達は米を十日も喰べません、野菜ものばかりでなんとか凌いで居る現狀です、既に金もなくなり衣類もありません、どうしたらよろしいでせうか

消費者懇談會を
平市の燃料對策注目の的

市の燃料對策委員會は十六日午後一時から市長室に招集、種々對策を練つたが、現在生産者はみす〳〵損をして供出して居る現狀にあり官有林では四十三錢民有林では四圓四十錢の赤字となつて居り、この赤字分を消費者側で補助をせぬ限り到底今年の冬は寒い想ひをせねばならず一兩日に再度の對策協議會を開き、消費者側の意見も聽取して隘路打開に乗り出すことゝした市の來春までの需要量は四萬俵に達してゐるが、今后の緊急對策に注目すべきものがある

改名料問題は
事實相違
當の山際氏語る

植田町青年聯盟が問題視した、全町某寺の改名料問題について當の山際壯太郎氏は問題となるやうなことでな[illegible]事實が相違してゐると十六日左の如く語る

住職より改名料として金一千圓を強要されたものでなく子息追善の爲め供養料花輪佛具其他一切を含んで自發的に納めたもので、却つて菩提寺に對しては迷惑であり問題にされるのは筋違いと思ひます

市參事會

市參事會は十四日召集、一時借入金五十万圓を決定した、右は第一國民校起債百三十八萬二千圓の内定をみたが、まだ認可にならぬので工事の進捗に伴ひ支拂ひに窮するのと、税收入をみず吏員の俸給支拂ひ等にも困るので借入れるものとある

馬市日割決定

郡内における當才馬初の馬市は十二月四日から三日間、中寺市場、八日から三日間、上遠野市場、十一、二の兩日熙田市場の順で開市、稲寶市場のみは關係方面の都合で明春二才市として開く

大鯉を釣る

市内正内町平田宇三郎さん(三八)は十日午后二時頃夏井村新殿地内夏井川下流で長さ二尺五寸目量二貫二百匁胴の周圍一尺八寸二分と云ふ大鯉を釣上げ大公望連をも驚かせた

電工感電即死

市内四軒町常磐炭鑛電氣工手水野光吉さん(四四)は十日午前九時二十分頃内郷町大字宮字平太郎地内で作業中誤つて電撃死

いわき寸言

▼平營林署長から沼の内森林愛護團に渡し船〃第二愛林丸〃が褒賞に贈られる、營林署の着眼も嬉しければ愛護團の誠意も嬉しし

▼日農協議會が草野村農組問題で再び噴火山上に登る、農組は飽迄も農民自身のものであらねばならぬそこに政治的色彩をみせると兎角揉めるものと知るべし

▼宮川、齋藤組東西對抗庭球に勝ち抜いて〃庭球平市〃の名を揚ぐ、その奮闘に感謝の辭を送るべし

▼小名濱町では故小野町長の頌德碑をいよ〳〵實現せしめるとある、近頃美しい話ではある

▼早場米のトップを切つて鹿島村から新米百俵供出さる、この村から溫い同胞愛にはたゞ感謝のみ

營業品種
◆製粉開始◆
高速度應用粉碎粉末各種
製パン、製菓、飼料各種
電氣製鹽其他
福島縣粉食協會
福島縣新興飼料協會指定工場
國民食糧聯盟
皆川食品工業所
所長 皆川太丸
工場長 馬上速
石城郡江名町大字下神白字綱取一四三
小名濱造船會社先埋立地

開業御披露
自動車修繕は
親切で確實で迅速な
水野自動車修理工場へ
水野二郎
平市長橋町性源寺東角
▷電話連絡は678番へ◁

暫く休診致して居りましたが今度從前の通りに診療を開始致しました
平市驛前
鈴木齒科醫院
鈴木一男

年内の完遂に太鼓判

お酒と特配豊年踊をも開催

平市の米收穫調査から見る

平市の供出割當一千八百五十石に對し二十二、三日に方部別割當を決定するが市勸業課の九日十日の調査に依ると甲地（反收二石四斗）二十町歩、乙地（反收二石二斗）二百二十町歩、丙地（反收二石）八十五町歩、災害地（反收一筆毎に調査決定する）十一町歩甲、乙、丙地のみで七千二十石、災害地の反收一石四斗としても七千百七十四石、今年供出は必らず年内に完遂出來ると太鼓判を押して居るが同時に今年は刈入荷のお酒の特配と共に豊年祭をも擧行、農家と共に喜びたいと具体策を練つて居る方部別等級は

▼甲地、上平（竹ノ花、八合）中平（高儘、岩間、杉内）下平鍛冶内前、からかひ、古内）下部（古川、戸ノ內、大内、（裏門、境町ノ一）▼丙地、上平（君ケ澤、下小川、九反坪、）中平（後川原竹下、戸川原、向諏訪原、金光寺、中ノ内、富貴内、反り田、古提、二澄田）、下平（大念佛、三王田、吉原）下部（中鹽、草鹿、（水日、杉山、引田、三反田、糠塚、大室七ツ山、浦澤、彌十郎）平方部（月見町、九品寺、新町）▼乙地は殘り全部

▼市の供米は年内完遂は大丈夫と市勸業課で大鼓判を捺す、心强い限りではあるがお役所仕事の盲目判にならぬやうお願も申す

野菜の今後は

―國井荷受組合長に聽く―

極度の品不足を告げた蔬菜も漸く昨今にいたり出廻りも好轉、心配の域を脱してお臺所を背負ふ主婦連をホツトさせた、この蔭には國井組合長をはじめ全組合員の勞苦が秘められて居り、以下荷受機關の目から見た最近の概況と今後の見透しでもある

こゝ數日來市内の八百屋さん店頭には蔬菜の山が築かれ消費者をして安堵感を與へてゐるがこの理由を擧げると

▼遅ればせながら其の後における適度の雨量が、秋蔬菜の生育を促し年間を通じて一番種別の多い收獲期に向へ、之が各地共一齊に出廻りはじめた結果、一種別、一方部のみに依存する必要がなくなつた

▼甘藷の豊作は生産者の賣急ぎ傾向による猛烈なる出廻りとなり、消費面はまだ米の配給量は少くも、野菜が主食の代役をする必要度合が薄らぎ必然的に需給のバランスが狂ひはじめた

▼米の豊作が主食糧の増配發表となり、消費面の前途に安心感を與へ之が作用して生産面は本來ならば自家用として保存し置く迄も動きはじめた結果、蔬菜は本然の副食的姿に復歸しつゝある

等で蔬菜果實の入荷狀況は最近其の數を増し九月二十六日以降去る五日迄の入荷數量は一萬三千九百九十余貫で一日一人當り四十七匁宛配給にまで漕ぎつけた、この數字からしても出廻り期に入つたことゝ主食糧事情の好轉が好果を擧げ得たものと云ひ得ることができる

お買物は皆様の
化粧品、固型洗劑、京人形
甘味料、小間物、各種雜貨
▽樂器部新設△
平四丁目
電二六八　やまよし

冬期の野菜も大丈夫

嬉しい見透し

今後の見透しについて荷受組合の觀測によると十二回迄の冬野菜は完全な見透しがつき、今年に限り冬枯れ時は到來することはないだらうと嬉しい朗報である、郡内の自給は五、六十%程度で到底郡外依存とあるが、今後は努めて優良品種の撰澤に當り兎角の配給非難を防止すると語つてゐる

郡下の救護者

生活保護法により援護を受けた郡下の生活困窮者は千五百二十七戸の五千八百七十三名に達してゐる、地方事務所ではこれら生困者に衣袴、毛布等を贈り温い援護をつゞけてゐる

濟生會員募集

新圓の漏進に伴ひ戰災者、引揚者の醫療費等は極度に困窮狀況に落ち入つたが縣の濟生會支部の設立に依り診療所の建設、巡回診療班設置、無料診療券の行等四十万圓の巨費を投じ濟生會の使命を果たすことになつたが平市にもこの割當が七千圓來たので社會課では早速晉通會員、特別會員等を募集、救濟事業の協力に乘り出すことになつた

農地報告督促

十一月の農地委員選擧をまへに農地調整法第十七條の規定による農地に關する調査報告は個人十五日團体二十五日とあるが、十五日現在地事に報告された個人該當者は數少く至急洩れなく報告されたいと

高橋課長本社榮轉

小名濱町日立製作所工場庶務課長高橋喬雄氏は今度日立本工場の秘書課に榮轉と決つた

開店お知らせ
貸本と賣買を始めました
せいぜい御利用下さい
平市搔摑小路二五
東京堂書籍部

開放

投書を歡迎す　要望批判結構　紙上可匿名

スト歡迎

▼…電産スト大歡迎である。私は鬪爭そのものは余り好むものではない、然しスト中のサービス振りの滿点さが嬉しくスト大歡迎を叫ぶものなのである、常にスト中の如くにあり度いと希ふものは私一人であらうか？又斯く願ふのは無理であらうか？

▼…平素は覺へず拳を振りあげたくなる程、まるでそんじよそこらのお役所のやうに劍もホロヽの受付子が、スト中は生れかはつたやうに愛嬌たつぷりで大變お優しくなる、これは大變によろしいが、スト後も斯くあつて欲しいものである

▼…これは配電會社に限つた譯ではないが、統制會やその他の純然たる營利會社、銀行等の如きでないところの受付子の態度は一考すべきものが多い、少し身成りの見すぼらしいものがゆくと宛然乞食扱ひだ

▼…口に民主化を唱へやうが、どうしやうが、こんな受付子がゐる間は何等の効果がないのである、何卒今回のストを機會に各社とも受付子の頭の改造を切に望んでやまぬものである

（杉平愛市生投）

伊藤市長へ

▼…立小便禁止、嚴罰眞によろしいことである、だが昨今の市内を御覽ぜよ、大通りは兎も角少し横丁通りに入るが露路に入ると、ごて〳〵と黄金の山が、そちこちにあり、うつかり歩けたものでない

▼…見た目に醜惡であるばかりか衛生上これ程不屆至極のものはない、これは一般民の衛生思想の缺けてゐることゝ公德心の缺如をもの語るものであり、立小便以上に嚴重に取締らねばならない

▼…然し一面市にも罪がある、共同便所の設備が余りにも乏しいがための結果ではないだらうか？誰も好きでかゝる不躾な眞似をするものはないであらう

▼…市當局よ！この際懸案として屢々市民から要望されてゐる共同便所の建設を急いでは下さるまいか、敢へて伊藤市長に紙上をかりて御質問申上げる

（衛生班）

生活と文化

草野村の素人演藝大會を見て

平中青一

（4）

舞踊に至つては大同小異。『いろは仁義』を四倉町青年がやつたかと思ふと、同じものを草野農業會がやり、『旅笠道中』を原高野青年團がやれば四倉町青年もやるといふ濫梅で、而も同じ型から打ち出したやうなものをすりへらした蓄音機の歌に合せるのだから、大半の者は何が何やら皆月わからずに騷いで居るから書いて來ると三文の價値もないやうに思へるか知らぬが良いと思つたのも五つ六つはある。舞踊では十五六の娘さんが二人揃つた久留米カスリのモンペ姿で、厚化粧をするではなし仲よく踊つてくれたのは、純眞でもあり、頭の下る嬉しさを覺えた。又、七、八人一緒にやつた豊年踊りは、これも殊更借り集めた着物でもなし、化粧もドク〳〵しくなく、調和と協力の美に滿たされた平和の象徴として涙のにじむ想ひであつた。『悲しき子守唄』は母子の愛情をたゞよはしつゝ、本當に上手にやつてのけたが、五つ六つ位の娘子の可憐さが人氣を呼んだことは爭はれまい。『月の沙漠』は昔から女學生の間に流行して來たもので上手だ。唯一人が何目的を以つて刀をさして來たかと云ひ度い反感が凡てを毫なしにする。苦心して作つた玩具ではあつても。劇では絹谷青年團の『親父は頑固なり』は一寸良い兩家の父が互に境界爭ひをして憎み合ふが、一方の青年と他方の娘とは互に愛し合つて、二人じんで書置をして東京に逃出すといふ筋書。

『終戰後』は草野農業會の看板まで持ち出して現實味をつけ、男二人と女一人で頻りに計算をしてゐる。その女は三年前に戰死した夫（許嫁であつたかも知れぬ）を胸に秘めつゝ、他の男と結婚してゐる。ところがその戰死した筈の夫が歸還するといふ物語である。短か過ぎて物足らぬが、最近の婦人解放の問題、新らしい結婚觀を提供するものとして注目に値する。原高野青年の着眼のよさは賞讃に値する。

『英靈元氣で歸る』は下神谷青年團の出演で、當日の傑作であらう。舞臺裝置は現代の農家で、落著きがあつて良い。落著きと云ふと簡單のやうだが、そうではない。在るべき場所に物が置かれ、色合でも毒々しくなく、調和があつて、見ても心に喜びがみなぎり、物も心も安定した姿を意味する。部屋の片方に英靈が祭つてある。母親の寫眞が出てゐる。父親と、英靈の弟と、村の青年が敗戰後の國內事情を反省しつゝ食糧が不足しても不平を云はず愚痴もこぼさず、大いに頑張つて増産に精出して日本再建の方途を、しんみりと語り合つてゐる。そこに傷痍軍人の服裝をした英靈が元氣で歸つて來る。驚きと喜びの渦が卷き起る。劇的な場面だが、芝居がかつても居ない。即ち氣障なところがなく虛飾もせず、自分達の日常生活の中に、新生活への理想を燃やしつゝ手を提へて進むといふ現代青年のあるべき姿から出發するところに私はすつかり感激させられたのであつた。

英靈が元氣な姿で歸つて來たが、既に母親はこの世にはなかつた。田植えの時に無理をして盲腸炎が手遲れになつた……といふ話を聞かせる。英靈は確かに一度は戰死した。然し、息を吹き返した時は既に敵の陣中に身を横たへてゐた。捕虜の汚名に泣きつゝ死を計つた。『殺せ』とも叫んだが、今おめ〳〵と歸つて來たことを泣いて語り慰め合ひ、力をつけ合つて新らしい天地に生きるといふ、見る者泣かざるなし。實は私も泣かされて溺書まで忘れてしまつたが大体こんな物語りだつたと思ふ。

いわき俳壇

みやびのつどひ

唐黍のゆるる穗先や雲遠し　之子
通り雨あぢさゐの花の搖るるほど　撫子
打水をはるかに秋の燕とび　勿水
虫の音のやみて叢の月青し
十六夜の月天心に虫時雨
合歡の葉のぬれて靜けき月夜かな
尾花咲く徑のほとりや墓近し　寂聲
風やんで野は暮れ近し萩の路　紫峯
雨やみて撫子の影長々し
萩の葉の大きく搖れて雨となり

一般塗裝工事請負
遠近を問はず出張工事御用命に應ず
營業案內
船舶塗裝　建築塗裝　鐵骨塗裝　自動車オートバイ　吹付　ワニス　防腐劑　コールタール　塗裝一般
安島塗裝工業所
安島光照
小名濱町横町四四番地　電一七八

眼鏡
專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目
視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力